

厚生労働省 令和7年度補助事業

介護のしごと魅力発信等事業

企画提案書



朝日新聞社
2025年5月2日



これからのKAIGO



はっけん！ケアのこころ ケアのしごと



「これからのKAIGO ～はっけん！ケアのこころ ケアのしごと～」

昨年度掲げた「これからのKAIGO はっけん！ケアのこころ ケアのしごと」を、
メインターゲットである子ども層、保護者・教職員に向けて、コンセプトとしていきます。

これからの介護業界を担う、小中高生が、介護のしごとに主体的に接する機会を通じて、
ケアのこころを養い、介護のしごとの魅力を『発見する』。本事業の主旨・ゴールを端的に表しており、
このプロジェクト名の下、子ども、保護者、教職員、ミドル層に対して、事業を推進いたします。

具体的な手法_事業全体概要



これからのKAIGO ～はっけん！ ケアのこころ ケアのしごと～

企画委員会

学識経験者・職能団体、介護事業者・実践者、有識者で構成する企画委員会を設置。年3回会議を実施し、効果的な広報と正しい情報発信に努めます。



既存ポータルサイト 「これからのKAIGO」を引き続き活用

パソコン用／スマートフォン用それぞれに対応した、情報発信の拠点として引き続き活用し、スピード感をもって対応します

https://www.asahi.com/ads/korekarano_kaigo/



1 全国的小中高での出張授業



2 出張授業のマニュアル制作と発信



3 科学マンガ「サバイバル」による コンテンツ制作



4 技能五輪全国大会を高校生が取材！ YouTube×SNS拡散施策



5 教職員向けプラットフォームを活用し たアプローチ



6 ミドル層向けウェビナー



1. 小中高生向けの出張授業

「ケアするこころ」を育む授業

令和6年度に開催した出張授業では、多くの学校から応募をいただきました。そこで、今年度も出張授業を実施し「ケアするこころ」を育む活動をしたいと考えます。弊社グループ会社における教育機関とのつながり・授業実施のノウハウを活用し、全国の小学校・中学校・高校合計8~10か所で出張授業を開催します。各地域の介護事業者の方や、**本事業（介護職発信事業）で採択された社会福祉法人等の事業者、全国福祉高等学校長改とも連携し、生徒の関心が高い分野「ICT・介護ロボット」などの活用事例も取り入れた、介護のしごとの魅力について伝える授業いたします。**

開催時期 2025年11月～2026年1月（予定）

実施回数 全国8～10か所（予定）
小学校3～5か所、中学校3か所、
高校2か所（予定）



実施方法 各学校の総合学習等で実施

それぞれの世代に合ったテーマ、伝え方で講師の方々と相談の上、進めて参ります。

⇒生徒の関心が高いICT・介護ロボット等を活用した事業所などの事例を取り入れます

講 師 介護職発信事業の採択団体、職能団体関係者、全国福祉高等学校長会による福祉系高校生などを予定



介護職発信事業で採択された団体や職能団体、全国高校生福祉校長会等と
積極的に連携を図っていきます。

具体的な手法

2. 小中高生向けの出張授業 マニュアル制作

生徒に「伝わる授業」の開催をより多くの地域へ届けるために

当社では、前年度本事業において行った全国8か所の小中高校の出張授業で、アンケートを実施しました。その回答結果を活用し、マニュアルを作成することで、自治体や介護職発信事業へ共有いたします。介護職の方でも、すべての人が自分の仕事のやりがいを言語化し、発信していくことが得意なわけではありません。マニュアルの作成によって、生徒や先生に響くポイントを整理し、多くの人に介護の仕事の魅力ややりがいが伝わり、様々な地域で主体的に出張授業を行う機会を作ります。

出張授業アンケート概要

開催時期 2024年12月～2025年2月

実施方法 アンケート用紙による回答



アンケート分析



教育現場からの助言



介護職の方のご意見



授業後のフィードバック

調査分析結果や教育現場や現役介護職の方々からの意見を参考に作成いたします。

3. 小学生へのアプローチ 大人気シリーズ「サバイバル」を活用したオリジナル冊子制作

小中学生向け・冊子「産業ロボットが福祉・介護の未来を変える」（仮）

絶大な人気を誇る科学漫画「サバイバル」を活用して、子どもたちの関心が高い「ロボット」や最新技術を切り口に、福祉・介護に関心を持つてもらう取り組みです。サバイバルのオリジナル冊子を作成し、子どもたちが楽しく学べる仕掛けを取り入れます。作成した冊子は、自治体や公的施設でも使っていただけるよう貴省に納品いたします。さらに、朝日小学生新聞などを通じて周知し、親しみやすいコンテンツによって子どもたち自身が日本の将来の福祉・介護について考え、興味を抱くようなきっかけを提供します。

世界的に人気の科学漫画「サバイバル」シリーズ

- ・書き起こしコンテンツやオリジナルクイズなどを案内
- ・科学の力で介護する人の負担を軽くしたり、
技術の進化でみんなを笑顔にすることができるという切り口
- ・コミック+読み物の構成（予定）

サ イ ズ A5版／16ページ制作（予定）

冊子製本印刷 1万部

冊子配布想定 自治体・公的施設等（貴省に一括納品）
朝日小学生新聞で告知し応募した一般読者

※配布は今年度内までといたします



科学漫画
サバイバル

4. 中高生向けアプローチ「技能五輪全国大会」YouTube×SNS動画拡散



大会出場者や福祉科高校の様子



1 動画制作



- 技能五輪全国大会の「介護」エキシビションに出場する人の事前インタビューや大会を見学する福祉科の高校生に取材。
- 技能五輪全国大会に高校生が密着し、レベルの高い技術を目の前で見てもらう。
- 大会で何を学んだか、自分がこれからどのような目標を持ったか、高校生たちの意識の変化や成長を描くことで、福祉や介護に関心のない生徒にも視聴を誘引します。



2 動画拡散

① 「ブカピ」YouTubeチャンネル

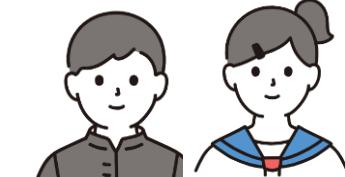
チャンネル登録者数：20.3万人

再生回数：10万回想定



② SNS・ショート動画

imp数：200～300万imp想定



ショート動画も作成し、発信予定！

具体的な手法

5. 教職員向けセミナーの開催

朝日新聞社の教員向けサイト
先生コネクト を使ったセミナーを開催

「先生コネクト」は朝日新聞の教育領域・データ領域でのアセットを活用した教員IDプラットフォーム。今回は「先生コネクト」を活用したウェビナーを実施いたします。今回は現役教員に登場いただき、「どうしたら生徒や教員の理解が深まるか」、「教員が知りたいリアルな情報とは」など、介護実践者や有識者を交えて教育現場のインサイトを探っていきます。



開催概要（予定）

- テーマ：「生徒に伝えたい介護・福祉の魅力」
教育のプロ、介護のプロが直伝「私ならこう伝える」
- 出演者案：現役の教員 2~3名程度
介護実践者・有識者など 2名程度
ファシリテーター「先生コネクト」編集長など
- 内容：生徒の自主性を育むキャリア教育、「介護」「福祉」の大切さをどう伝えるか、先生たちの理解がどうしたら更に深まるか、リアルな情報など、座談会を通して教育現場のインサイトも探っていきます。

介護職発信事業の採択者と連携したセミナーを検討いたします



配信方法

事前収録した座談会を後日配信します。

- 収録時期：2025年9月下旬ごろ
- 配信時期：2025年11月中旬ごろ
- 再生回数：10万回再生想定
- 採録記事：1万PV想定、全国紙朝刊5段

教員IDなどを活用し周知します



具体的な手法

6. ミドル層（子育て層）向けイベントの開催

当社はこれまでアクティブシニア層に「周辺業務」などの多様なしごとや、地域に貢献できる魅力を伝えてきましたが、2040年を見据え、より中核になる人材に訴求していくことが重要と考えます。

そこで30代～50代以上のミドル層（子育て層・子育てが一段落した層）を主に対象とした介護の仕事の魅力をテーマにオンラインセミナーを実施します。子育てと仕事の両立や復職を希望するものの一步踏み出せない子育て層（男女）に対して、**介護の仕事の魅力・やりがいを多様な働き方を推進する事業者などを交えてリアルな声を伝えることで、仕事の具体的なイメージとしてわきやすくし、興味関心を高めます。**

開催概要（予定）

配 信 2025年12月以降（予定）

形 式 オンラインセミナー（事前収録）
YouTube広告10万回再生以上

採 録 ポータルサイトに採録記事を掲載
(1万PV想定)

ミドル層に効果的に発信します



- **660万ID**を超える朝日ID会員の属性と、各種媒体・サービスを通じたWEB行動情報履歴など蓄積したA-TANKや、YouTube、LINEを活用します。
- 動画配信 **10万回** 再生以上
- 視聴後のアンケートも実施予定

セミナー内容（案）

時 間 60～70分程度

テ マ 伝えたい！介護のしごとの魅力

登壇者案 介護実践者、事業者から2名程度
MCなどを想定

多様な働き方を推進する
事業者などを選定

登壇する介護実践者には、**多様な働き方を推進する事業者**を選定。介護職発信事業やその他団体と連携していきます。